

研究実施のお知らせ

研究課題名：SARS-CoV-2感染患者のバイオマーカーの測定

研究期間：令和2年9月1日(仙台市立病院倫理委員会承認後)～令和5年7月31日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された既存試料・情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

2020年2月1日から2023年7月31日までに当院でSARS-CoV-2感染症で入院された方、及び疑似症例としてPCR検査を受けた方。

【研究の目的と意義】

目的：保存検体を使い、SARS-CoV-2感染症の重症度マーカーを探る

意義：SARS-CoV-2感染症（COVID-19、新型コロナウイルス感染症）では、様々な症状が認められます。しかし機序が不明であり、治療を難しくしています。本研究では、様々な炎症物質の測定、抗体、ウイルス遺伝子を解析することで早期診断、早急な加療につながることを目的としています。

【研究の方法】

凍結保存させていただきました検体から炎症物質（タンパク）を測定し、新型コロナウイルス抗体とウイルス遺伝子を解析します。診療上必要であった問診からの臨床所見、画像所見、血液検査から得られた血球分画、生化学、細菌学検査結果も使用させていただきます。

【研究に用いる試料・情報の種類】

利用する試料：凍結保存血漿

：血液検査データ 血球分画、生化学、細菌学検査結果、

情報の種類：診療録に記録された診療情報（熱、血圧、酸素濃度、呼吸器症状、画像等）

診療録に記録された診療情報研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究の実施体制】

この研究は、多施設共同研究として、以下の共同研究機関で実施されます。

研究代表者：仙台市立病院 呼吸器内科 医長 芦野 有悟

研究参加施設

※ 仙台市立病院 呼吸器内科 部長 八重柏 政宏 医員 京極 自彦 医員 小室 英恵
医員 白土 陽一

※ 仙台市立病院 感染症内科 部長 八田 益充

- ※ 熊本大学 熊本大学大学院生命科学研究部微生物学講座 准教授 前田 洋助
- ※ 吉備国際大学 吉備国際大学 保健医療福祉学部 教授 服部 俊夫 高橋 敦
- ※ 香川大学医学部免疫科 香川大学医学部免疫学分野 助教 仁木 敏朗
- ※ 鳥取大学医学部医学科 鳥取大学医学部細菌学分野 准教授 松葉 隆司（～2021年3月31日）
- ※ 九州保健福祉大学 薬学部 動物生命薬学科 教授 松葉 隆司（2021年4月1日～）
- ※ 静岡県立大学 薬学部 助教 古島 大資

【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 呼吸器内科
医長 芦野 有悟
仙台市太白区あすと長町一丁目1番1号
電話：022-308-7111（代表）